京都府子育て環境日本一推進会議　令和８年度「アクション」一覧

○テーマ①：「子どもが社会とつながる京都づくり」

○テーマ②：「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」

資料３

団体名	選択テーマ	「アクション」内容
京都府商工会議所連合会	①「子どもが社会とつながる京都づくり」	京都商工会議所では、テーマ①「子どもが社会とつながる京都づくり」に基づき、京都の優れた環境技術や京都企業の環境問題・SDGsに関する取組を京都市内の小学生に広く紹介し、環境問題と地域企業等への関心を高める出前授業「小学生への環境学習事業」を展開します。また、子どもたちが京都の歴史や文化、伝統産業などについて学び、地域の誇りや関心を高める機会として京都市内の小学生とその保護者を対象として「京都検定３級　小学生親子受験割引制度」を継続するほか、文化と産業の交流拠点「京・和新庵」にて小中学生を対象とした文化体験教室を実施します。
京都府商工会連合会	①「子どもが社会とつながる京都づくり」	京都府商工会連合会では、テーマ①　「子どもが社会とつながる京都づくり」に基づき、府内商工会の実施・参加する子ども向けや親子で参加できる産業祭や商工祭、季節のイベントの開催、高校生の進路相談などへの支援のほか、子育て環境の整備も配慮した中小・小規模事業者の働き方改革支援などに取り組みます。
京都府中小企業団体中央会	②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」	京都府中小企業団体中央会では、テーマ②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」に基づき、京都府等と連携し、会員組合を通じて中小企業等の課題である人材確保・定着の実現に向けて、業務の効率化や労働環境の改善及び人材育成など生産性向上や子育て世代等の多様な担い手が活躍できる就労環境の整備など企業の魅力向上を目指す中小企業を支援します。
公益社団法人京都工業会	②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」	行動目標 過半数の社員が「自社は様々な境遇の子供たちの子育て環境が整った企業だ」と感じる会員企業の割合が80%以上となることを目指し、啓発活動に取り組みます。 具体的行動 女性社員がライフサイクルに応じて働きやすく活躍できる環境を考える「女性活躍推進部門懇話会」や「良いモノづくりをする女性のための研究会」を開催し、先進事例などの状況を共有するとともに、会員企業の子育て環境の進捗状況を会員アンケート等で把握していきます。
日本労働組合総連合会京都府連合会	②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」	連合京都では、「テーマ②『子育てと働くことの両立を実現する京都づくり』に基づき、加盟組織への周知徹底を行います。
一般社団法人京都府保育協会	②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」	一般社団法人京都府保育協会では、すべての子どもへのよりよい保育の探究とこども真ん中・みんな真ん中社会の実現を目指し、教育・保育活動をはじめさまざまな地域の公益的な取り組みを通じて、老若男女の誰もがいきいきと出会い、ふれあい、響き合うウェルビーイングな現在・未来を拓いていきます。 １．子どもの育ちを保障します。 ２．子育て家庭を支えます。 ３．多様な連携と協働をつくります。 ４．子育て文化を育みます。 ５．子育て・子育ちを支援する仕組みをつくります。
NPO 法人全国認定こども園協会京都府支部	①「子どもが社会とつながる京都づくり」	認定こども園の最大の特徴は、「保護者の就労状況を問わない受け入れ」と「地域の子育て支援」の２つの機能を併せ持つ点にあります。 この特色を活かし、「こどもまんなか」の視点を基軸に、保育・教育施設の枠を超え、「社会とつながる」ウェルビーイングな取組を検討・実践していきます。 そのために、「地域の子育て支援」機能や、「こども誰でも通園制度」等を活用し、地域社会と広く関わり、園情報や子どもの育ちを発信し、「地域との交流を日常化」していくことにより、社会全体で子どもの育ちを温かく見守る文化を醸成することができると思います。 「寄り添い、向き合い、支え合う」日常を京都のまち全体に広げていくたの第一歩にしたい。そのために、下記の取組を京都府支部として検討します。 ①事業の共有化・拡大化 ･地域の高齢者との交流 ･地域行事への参加 ･保護者同士や家庭と地域をつなぐ子育てサロンの開催 (地域の子育てコミュニティの核となる) (「地域のリビング」としての多世代交流の拠点化) ･京都という地に根ざした「本物」に触れる体験 など、既に各園の取り組んでいる事業を整理・広報・共有し、取組の　　拡大を進めていく。 ②保育教諭の研修 ･子どもの言葉にならない「声」を聴き、その主体性に寄り添うための専門性を高める研修を強化し、「京都の認定こども園は、日本一子どもを尊重する場所≪子育て環境日本一≫」というブランドを確立する。

団体名	選択テーマ	「アクション」内容
NPO 法人子育ては親育て・みのりのもり劇場	①「子どもが社会とつながる京都づくり」	自然と触れ合い、心を育み、社会とつながる力をはぐくむ。 行動目標：「里山や自然」と「親子」の接点をつくり、自然体験を通して豊かな心を育むとともに、子どもたちが社会の中で自ら関わり、つながっていく力を育成する。 具体的行動： 自然の中で「遊び、体験し、学ぶ」機会を、子どもや若者、親子に提供することで、自然への畏敬と愛着、そして共生の大切さを肌で感じてもらう。また、自然体験を通して豊かな感受性や自己肯定感、チャレンジ精神をはぐくみ、他者や地域、社会とのつながりの中へ一歩を踏み出していける力を育てる。
NPO 法人働きたいおんなたちのネットワーク	②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」	働きたいおんなたちのネットワークでは、テーマ②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」に基づき、経験、技術、資格などの能力を生かして、その人らしく働ける週２時間からの働く場の提供など女性の生き方と働き方を応援する。 ①子育てのために休業することを希望する従業員であって１８歳に満たない子と同居または養育する者は申し出により子育て休業をすることができる。 ②こどもの慣らし保育に合わせた保護者のならし就業の実施と就業継続のための相談対応を実施する。 ③地域の働く女性(在宅勤務含む)に対する育児休業中および慣らし就業中並びに復帰後の両立相談を実施する。 ④当法人事業に必要な資格取得のために休業することを希望する従業員は、申出により資格取得のための休業を取得することができる。 ⑤ひとり親で働きながら特性のあるこどもを育てている家庭(親またはこども)に対する相談の実施とこどもの居場所を提供する。
NPO 法人ライフプランニング京都支部	②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」	NPOライフプランニングでは、テーマ②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」に基づき、京都府の婚活支援事業に婚活アドバイザーとして8年間従事してきた松村寿代の経験と知見を活かし、飲食店「あんきょうと」を活用した継続参加型の婚活支援とライフプラン相談を通じて、若者が自然な出会いの中で、結婚後の生活設計や子育てと働くことの両立を具体的に思い描ける機会づくりに取り組みます。 具体的には、地域の飲食店と連携した定額制の出会い支援サービスの京都府全域での運営、婚活イベント・交流会の開催、結婚・子育て・働き方に関する個別相談を実施します。 また、京都の成婚者の会に登録する65組の家族とのつながりを活かし、成婚後の夫婦支援や子育て家庭同士の大型交流会を実施。 婚活中の独身者も先輩家庭の体験共有につなげることで、結婚前から結婚後・子育て期まで切れ目なく支え合える地域の関係づくりを進め、安心して家庭を築き、働き続けられる環境づくりを後押しします。
公益社団法人京都府青少年育成協会	①「子どもが社会とつながる京都づくり」	公益社団法人京都府青少年育成協会では、テーマ①「子どもが社会とつながる京都づくり」に基づき、子どもたちの健やかな成長にとって家庭の役割の大切さを再認識していただくため、毎月第4土曜日を「家庭の日」として、家庭の日運動を進めています。その中で、社会の中で子どもたちがこれからの京都づくりの架け橋となるよう、家庭からできる小さな一歩の取組みを行います。 1.「家族ふれあい大賞 家庭の日絵画展」の実施 ①親子や家庭におけるほほえましい雰囲気等を表現した絵画作品の募集 ②入賞等作品の巡回展示を府内26会場で開催 ③入賞作品を活用した「家庭の日運動カレンダー」を作成、配布 ２.家庭の日運動の実施 家族で話す時間や機会を増やし、家族の思い出や絆づくりの取組 ①子どもと楽しむ自然体験動画の作成 ②大人と子どもとの交流 ３．啓発事業の実施 ①親子で松ぼっくりでXmasツリーを作る工作体験の取組　など
公益社団法人京都府宅地建物取引業協会	②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」	京都宅建では、テーマ②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」 に基づき、男性社会の典型ともいわれる宅建業界で働く子育て世代、とりわけ 女性が働きやすく、働き続けられ、起業もできる、そんな宅建業界を目指し、 女性部会（平成２６年創設、部員数１７５名）の活動を拡充・支援します。 京都宅建青年部会との合同企画も用意し、セミナーや交流会を通じた情報交換やスキルアップ、業務上の悩み等に応えるとともに、女性や青年の登用を図り活躍できる場を設定してまいります。

団体名	選択テーマ	「アクション」内容
公益社団法人全日本不動産協会京都府本部	②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」	全日京都では、比較的時間的制約の少ない自由な働き方ができ、子育てしながら仕事のしやすい「不動産業」の魅力を伝えることとし、「子育てと働くことの両立ができる職業」としての「不動産業」をPRする「不動産業開業支援セミナー」の積極的な開催等を実施するとともに、全日京都に令和8年4月に発足した「女性部」の活動を活発化するなどにより、子育てする女性の不動産業者と従業者が活躍できるよう支援する。
京都新聞	①「子どもが社会とつながる京都づくり」	京都新聞では、テーマ①「子どもが社会とつながる京都づくり」に基づき、下記取り組みを実施します。 ・小学生向けの媒体「ジュニアタイムズ」を活用し、防災教育や企業研究のテーマで小学生と社会をつなぐ企画を実施します。 ・中学生向けには京都の企業を紹介する冊子を作成・配布し、地域の産業や企業・団体の理念や役割に触れることで、未来の京都の担い手創出を目指します。 ・大学生とは環境学習イベントで連携し、より幅広い層に持続可能な社会づくりのための取り組みを考えてもらう機会とします。 ・また、高校生向けに京都の企業の研究・交流ができる企画を検討中です。
株式会社京都銀行	①「子どもが社会とつながる京都づくり」	京都銀行では、地域の皆さまの金融リテラシー向上を目的に、金融経済教育の普及に取り組んでまいりました。この取り組みにより、子どもたちが楽しく学び、成長できる環境を提供しています。 具体的な活動としては、学校への金融経済教育のセミナーを開催する他、9月の「学びEXPO」でセミナーを実施し、ブースを出展しました。また、10月には「京都版ミニミュンヘン」において子ども向けのブースを出展し、多くの方々にご来場いただきました。 さらに、独自の取り組みとして、2023年度から毎年夏休み期間中に当行桂川キャンパスにて親子向け金融教育セミナーを継続して実施しています。 新たに金融教育教材として、地域が直面する社会課題の解決や地方創生に取り組む参加型ゲーム「桃鉄投資クエスト」を導入しました。小学高学年からゲームを通じて投資を学んでいただける教材です。 結果として、2025年度金融経済教育の参加者は府内の小学生から大学生までで2,451人に達し、前年度の860人から大幅に増加しました。 今後も、地域社会に対して金融経済教育のさらなる普及・推進に努めることをここに宣言いたします。私たちは、地域の皆様と共に、持続可能な未来を築くために努力を続けてまいります。
京都北都信用金庫	②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」	京都北都信用金庫では、テーマ②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」に基づき、下記の取組を実施します。 令和８年２月１日に職員の育休取得時に業務の負担が増加した職員の貢献に報いる「育休フォロー手当」を創設しました。この新たな取り組みを、一層職員に周知することで、実効性の有るものとし、長期の育児休業を遠慮せず、取得しやすい環境づくりを整え、育休者を引継ぎ職員が支え合い、協力し合う組織風土の醸成を目指します。
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	①「子どもが社会とつながる京都づくり」	弊社では、テーマ①「子どもが社会とつながる京都づくり」に基づき、子どもが永く京都に住み続けるまちづくりに向けて、京都府・パートナー企業と一体となって、子どもの希望が叶う環境づくりに取り組みます。 具体的取組み活動は、京都の未来を担う人財育成として子ども向けの職業体験会を開催（キッズお仕事体験）。当社の地域ネットワークを生かし多種多様な企業・事業主と連携して京都の文化・伝統・地域性を感じられる体験を通じて、子どもが永く住み続けるまち京都の実現を目指します。
株式会社島津製作所	②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」	株式会社島津製作所は、テーマ②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」に基づき、以下のアクションを実行して、子育て世代が、仕事（キャリア形成）にも、家庭・育児にも、安心して向き合える環境作りを継続します。 1．キャリア自律支援の強化 多様な背景を持つ社員一人ひとりのキャリア自律への支援を強化します。特に、ロールモデル不足やライフイベントを踏まえたキャリア形成への不安を抱える女性社員への支援策として、若手社員対象のリーダーシップ研修を継続して実施します。育児をはじめライフイベントを大切にしつつ仕事の中で自分らしく輝けるようエンパワメントを促すとともに、上司とのキャリア面談を設定して、上司部下が一体となってキャリアプランやキャリアアップを考える環境を実現します。 2．育休取得の促進 男女問わず育休取得率の更なる向上を目指し、育休が取得しやすい環境作りを継続します。制度整備に加え、相談窓口の運用による対象者支援のほか、ダイバーシティ・マネジント研修（管理職対象）を継続・拡大し、多様な働き方やキャリアを受け入れ柔軟に対応できる組織づくりを進めます。 （2025年度　育児休業実績：男性75%、女性100%）

団体名	選択テーマ	「アクション」内容
株式会社ファミリーマート	①「子どもが社会とつながる京都づくり」	株式会社ファミリーマートでは、「子どもが社会とつながる京都づくり」に基づき、『ファミマこども店長＋SDGs』の開催を実施します。 通常の『ファミマこども店長』に加え、ファミリーマートが実施している ・ファミマフードドライブ(寄付食品の回収。協力団体を通じこども食堂等へ) ・エコ割(消費期限が近い商品の割引及びおむすびが泣いているシール) ・コミュニケーション支援ツール(箸の有無や温め等を指さし出来るボード)について、体験を通じて学習します。 体験の中で、参加されているお子さまに、どうしたら廃棄する食品を減らすことが出来るか、言語障がいをお持ちのお客さまや高齢者の方等にもお買い物しやすい店舗にするにはどうすればいいか等を考え、話してもらうことで環境に関わる姿勢や社会の一員としてのつながりを実感しながら体験してもらうことを目指します。
株式会社ローソン	①「子どもが社会とつながる京都づくり」	株式会社ローソンは、前年度に引き続き「子ども、若者、その保護者にとってなくてはならない存在となり、京都の子育て環境や子どもたちの未来・希望を応援する」ことをテーマに掲げ、子どもが大人とともに社会をつくる体験ができる環境づくりに取り組んでまいります。 具体的には、ハピろーの森（京都府立府民の森ひよし）において家族で楽しめるキャンプの年2回開催、フードドライブを活用した食品や日用品の寄付、京都市の小学5年生および中学1年生を対象とした”わくわく ＷＯＲＫ ＬＡＮＤ”や”ジョイ ＪＯＢ ＬＡＮＤ“の通年開催など、多様な活動を実施しています。これらを通じて、子どもたちが大人とともに社会をつくる体験の場を提供してまいります。 また、京都府以外の支援学校や支援学級からも出張授業のご依頼をいただいており、スケジュールの調整が可能な限り、京都府内外の学校でも開催できるよう努めてまいります。
住友生命保険相互会社	①「子どもが社会とつながる京都づくり」	住友生命では、テーマ①「子どもが社会とつながる京都づくり」に基づき、　　小学校・中学校・高等学校への出前授業を実施し、キャリア教育や金融教育等を通じて、子どもたちが働くことや社会との関わりを主体的に学ぶ機会を提供します。
ソフトバンク株式会社	①「子どもが社会とつながる京都づくり」	ソフトバンクでは、テーマ①「子どもが社会とつながる京都づくり」に基づき、京都府内のソフトバンクショップを活用した「こどもデジタル相談・体験デー」の実施を検討します。 今年度、ソフトバンクでは「子どもを対象としたスマホ教室」の充実を計画しており、本取組を通じて、子どもたちがスマートフォン、インターネット、AI、防災情報等を安全かつ前向きに活用するための学びの場を提供したいと考えています。 特に、子どもたちが身近なデジタル機器や通信サービスを通じて、社会、とりわけデジタル社会とのつながりを実感できる機会となるよう、スマホ・SNSの安全な使い方、生成AIとの上手な付き合い方、災害時のスマホ活用、地図アプリ・防災アプリの使い方、家族との連絡ルールづくり等をテーマとした内容を想定しています。 また、子どもたちから「スマホで困っていること」「ネットで知りたいこと」「地域で便利になってほしいこと」等の声を聴く機会を設けることで、子ども目線の課題やニーズを把握し、京都府における子どもたちの安全・安心なデジタル活用や、主体的な社会参加につながる取組として検討を進めます。 なお、現在カリキュラムの策定中であるため、本施策の実施可能店舗、実施内容、実施方法等については、京都府と協議のうえ具体化してまいります。
ダイドードリンコ株式会社	①「子どもが社会とつながる京都づくり」	ダイドードリンコはテーマ①「子どもが社会とつながる京都づくり」に基づき、子どもたちの工作自販機の制作を通じて京都に訪れる方、京都に在住の方へ向けた社会課題を考え、自販機からメッセージの発信及び課題解決につながる新たな自販機検討を行う機会を作ります。 当社はラッピング自販機、音声自販機の展開をしておりますが、ラッピングデザインや音声を活用し、社会課題に対して自販機を通じてメッセージを発信する「まちづくり」の一環としての体験を行っていただきます。 子どもが自ら選び、つくり、表現するプロセスを通じて、 主体性・協働性・探究心・創造性を育むことを目的といたします。
東京海上日動火災保険株式会社	①「子どもが社会とつながる京都づくり」	東京海上日動火災保険株式会社では、テーマ①「子どもが社会とつながる京都づくり」に基づき、以下に取り組みます。 ①地震や水害等の災害時の実態を共有し、いざ災害が生じた際に速やかに安全を確保できる授業・ディスカッションの実施 ②交通事故が多い通学路を示しつつ、実際に事故が生じないようにするためにどのようなことに取り組めばよいか、ディスカッションを実施。 ③京都の地元企業への就職する学生を少しでも増やすことを目的に、京都の地元企業と連携した職業体験を中高生を対象に実施。

団体名	選択テーマ	「アクション」内容
西日本高速道路株式会社	①「子どもが社会とつながる京都づくり」	ＮＥＸＣＯ西日本では、テーマ①「子どもが社会とつながる京都づくり」に基づき、地域の子どもたちが高速道路というインフラ整備の現場を自らの目で直接見て、社会との関わりを実感できる機会を創出します。 　具体的には、京都府域の高速道路建設工事現場における現場見学会などを通じて子どもたちの関心を深める機会を提供するとともに、参加した子どもたちの率直な意見・気づきを現場での取組内容の改善につなげることで、子どもの主体性を尊重した環境づくりを推進してまいります。
西日本旅客鉄道株式会社	①「子どもが社会とつながる京都づくり」	西日本旅客鉄道株式会社では、テーマ①「子どもが社会とつながる京都づくり」に基づき、 ①京都サンガF.C.連携ハートフルシート（詳細未定） 【目的】 普段スタジアムへ来場する機会が限られているひとり親世帯の子どもたちと保護者をホームゲームへ招待し、スポーツを通じた感動体験や地域との交流機会を創出する。 親子のふれあいや社会参加を後押しすることで、地域全体で子どもの成長を支える「子どもが社会とつながる京都づくり」の実現を目指す。 【参考】 日　　時：2025年10月4日（土） 場　　所：サンガスタジアムby KYOCERA 招待者数：約100名 ※サンガ、京都府と連携 ②地域主催イベントへの参画 【目的】 鉄道のお仕事紹介や踏切安全体験、子ども向け制服体験などを通じて、親子で楽しみながら社会や地域とのつながりを育む機会を創出し、子どもたちの学びや成長を支える「子どもが社会とつながる京都づくり」の推進を目的とする。 【参考】2025年度実績 ・京都版「ミニ・ミュンヘン」 ・宇治茶・山城ごちそうフェスタ ・わいやーかーにばる ・けいはんな乗り物フェア ・のり乗りフェスタ なお、①、②ともに2025年度も実施しており、「子育てにやさしい環境づくり推進に向けた連携協定」の連携事項第２項 （１）社会全体で子育てを見守り支える、あたたかい子育て社会実現に向けた取組（子育てにやさしい風土づくり、子育てにやさしいまちづくり）に関すること。 に沿った取組みと認識している。
日本生命保険相互会社	①「子どもが社会とつながる京都づくり」	子どもへの体験機会創出をテーマに取り組みます。 ＜具体アクション＞ ・経済的な理由で進学が困難な高校３年生、浪人生を対象とした進学奨学金 　の支援を行います。募集人数は全国１２００名、１０万円を支給予定。 ・Ｂリーグ（京都はんなりーず）と共催で５／３０に小学生向けバスケットボール体験教室を開催予定（宇治市、約６０名を予定） ・ニッセイ野球部による少年野球教室を開催します。 小学生１００名を対象、１２／５開催予定、場所未定。 ・１０／３０に開催される京都市スポーツフェスタに、京都大学アメリカンフットボール部と共催のアメフト体験ブースを出展予定。 ・その外、子供たちに様々な体験機会を創出し、気づきを与えるお手伝いを 　行って参ります。
日本郵便株式会社	②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」	日本郵便株式会社では「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」を実現するため、企業として、ライフステージの変化に応じて、安心して働き続けられる制度を整え、子育てを理由として仕事やキャリアをあきらめなくてよい環境づくりを推進します。 （具体内容） ・育児と両立しながら働き続けられる企業を目指し、法定を上回る育児休業取得を推進するとともに、取得後の社員への研修を行う等、安心して働き続けやすい環境を構築。 （グループ目標） 男女ともに育児休業取得率：100％ 男性の平均取得日数：１か月以上 ・仕事と育児の両立支援施策として、「子育てと仕事の両立を考えるセミナー withパートナー」と題し、 育児休業中の社員等を対象に、パートナーやお子さんを同伴して参加できるセミナーを開催します。

団体名	選択テーマ	「アクション」内容
株式会社明治	②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」	株式会社 明治　関西支社ではテーマ②に基づき、 ①京都府下の希望される企業様で育児セミナー「チーム育児」を開催し、社員様ご家族と育児支援者の子育て環境づくりに貢献します。 ②WEラブ赤ちゃんプロジェクト主催イベントにて、乳幼児の栄養相談・乳幼児向け商品サンプリング・幼児の鉄チェックを行い、働くご家族を支援します。 ◆チーム育児セミナーについて ＜内容＞ 〇知っておきたいママの体と心の変化 〇赤ちゃんの行動の秘密 〇みんなで子育てどうやっていく 〇育児のために先輩パパ＆ママが実践していること 〇ミルク作りって実はとっても簡単、「明治ほほえみ」の使い方 〇「明治ほほえみ」のこだわり 〇利用できるサービスいろいろ ＜所要時間＞ 〇60分程度　※要相談 ＜対象＞ 〇妊娠中の社員様・ご家族様と育児支援者
ヤマト運輸株式会社	②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」	ヤマト運輸では、 テーマ「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」に基づき 子育て世代の買い物の負担を軽減します! 自治体からの要請があれば、店舗からご自宅へオムツなどのかさばる物や重い物などを配達し、外出が難しい子育て世代の買い物の負担を軽減できるよう手助けを行います。
有限責任あずさ監査法人	①「子どもが社会とつながる京都づくり」	あずさ監査法人では、テーマ「子どもが社会とつながる京都づくり」に基づき、これまで実施してきたキャリア教育プログラム等の実績を活かし、子どもと社会の接点創出に資する取組みを実施します。 具体的には、京都府が実施する京都の未来を考えるワークショップに参画し、会計・税務といった専門分野に関する内容を、中高生向けに分かりやすく説明する講義やワークショップを通じて、仕事や社会の仕組みに対する理解を深める機会を提供すると共に、中高生の自律的な取組について支援いたします。
京都労働局	②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」	京都労働局では、京都府において子育てと働くことの両立を実現するため、育児・介護休業法を確実に施行することにより、仕事と育児の両立の実現を図ります。 両立支援等助成金を支給することにより、育児と仕事が両立できる職場づくりを行う事業主を支援するとともに、育児休業を取得する雇用保険被保険者に対しては育児休業給付金を支給する。 次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん認定」取得を、仕事と育児を応援する企業に対し積極的に勧め周知広報することで、管内における「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」の機運醸成に努めます。
京都府教育委員会	①「子どもが社会とつながる京都づくり」	京都府教育委員会では、テーマ①に基づき、実社会とつながる学習を実施し、すべての子どもたちの夢や志を応援することで、日本や京都の未来を切り拓く人材を育成します。 京都府教育委員会においては、次代の社会の担い手としての責任を自覚し、現代社会が抱える課題に関心をもって、主体的に社会参画できる資質と能力を養う教育を推進しているところです。 その中でも、府立高校においては、地域の伝統文化、産業など京都のほんまもんの価値を学ぶ講座や、生徒主導で企画・立案した学びの魅力創造に繋がる取組を応援することで、自由な発想をかたちにし、子どもたちの夢や希望の実現に向けた学びを応援します。

団体名	選択テーマ	「アクション」内容
京都市	①「子どもが社会とつながる京都づくり」 ②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」	テーマ①「子どもが社会とつながる京都づくり」 子どもの主体性を重視し、子どもの声を聴きながら、子どもを対象とした取組を検討・実施します。 ＜具体的なアクション＞ 〇京都版ミニ・ミュンヘンの開催 〇子ども・若者の意見反映にかかる取組 テーマ②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」 子育て世代が、子育てを理由として仕事やキャリアをあきらめなくてよい環境づくりに向け、企業・団体の規模や事業特性に応じて、実効性かつ持続性のある取組を実施します。 ＜具体的なアクション＞ 〇保育所等及び学童クラブ事業の待機児童ゼロの継続 〇乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の利用拡充 〇認可保育施設における第２子以降の保育料無償化 〇私立幼稚園における第２子以降２歳児の保育料無償化 〇病児・病後児保育事業の実施
京都府	①「子どもが社会とつながる京都づくり」 ②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」	①「子どもが社会とつながる京都づくり」 ・子どもたちが仮設のまちづくりを行う「京都版ミニ・ミュンヘン」の府内各地での展開を推進します。 ・中高生と企業が同じ目線で意見を交わし、課題を議論する「京都の未来を考えるワークショップ」を実施します。 ・府全域を学びのフィールドにした「探究学習」や人物重視で尖った人材を育てる「海外探Q」留学を実施します。 ・多世代交流の居場所づくりを進める新たな居場所事業を実施します。 ②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」 ・「子育てにやさしい職場づくり宣言」を行う企業の掘り起こしを行うともに、実践に繋げる企業の増加を推進します。 ・企業が行う仕事と子育てが両立できる職場環境づくりへの支援を強化します
京都府市長会	②「子育てと働くことの両立を実現する京都づくり」	京都府市長会では、毎年度府内各市の要望をとりまとめて、国及び京都府への要望活動を実施しています。 令和８年度も国及び京都府への要望を通じて、「子ども・子育て支援施策の充実、子育てにやさしいまちづくりの推進」の実現に寄与してまいります。
京都府町村会	①「子どもが社会とつながる京都づくり」	京都府町村会では、府内町村から子ども・子育て支援に係る要望を取りまとめ、子どもや子育て世代をはじめ、すべての人にとって暮らしやすい地域が実現できるよう、国及び京都府に対し、子ども・子育て支援施策の充実を求めてまいります。